

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2017

8月

No.146



特集 P2・3

台風9号
豪雨災害
から8年

災害時に生きる

助け合いのネットワーク

2時間のしあわせ
社協のミニデイサービス

ひ孫と
いっしょ

シリーズ145

千種町岩野辺

柳谷 弘太さん(87歳)

真央ちゃん(1歳7ヵ月)

山田 真也さん・香織さん
■長女



「災害の報道を見て勉強したいと思った」「台風9号災害でボランティアにお世話になったので恩返しをしたい」等、さまざまな思いで参加されています(6/15 宍粟防災センター)

台風9号
豪雨災害
から8年

災害時に生きる 助け合いのネットワーク

平成21年8月に発生した「台風9号豪雨災害」は宍粟市に大きな被害をもたらしました。また、それと同時に住民相互の助け合いや災害ボランティアによる被災者支援活動の重要性を改めて考えさせられることとなりました。

今月号では、宍粟市社会福祉協議会(以下、本会)が取り組む災害ボランティア活動の啓発とネットワークづくりについて紹介します。

災害ボランティアに

50人が登録

本会では、市民の防災意識の向上と災害時の住民相互の助け合いの基盤づくり、また、災害ボランティアの育成や活動者の確保を目的に、平成26年度から災害ボランティア養成講座を実施してきました。

参加者は男性や女性を問わず幅広い年齢の方が集まり、3年間で50人が受講され、講座終了後に災害救援

活動の協力者としてボランティア登録を行っています。

助け合いの

ネットワークづくり

今年度、これまで受講された方々に呼びかけ、「災害ボランティアネットワーク」を立ち上げました。

この組織は、九州北部や秋田県を襲った記録的な豪雨がいつ宍粟市に起こってもおかしくない中で、平時

災害ボランティアネットワークから

「DIG」災害図上訓練

のお知らせ

災害図上訓練は、大きな災害が発生することを想定し、地図を用いて危険が予測される地帯、また事態を地図上に書き込んでいく訓練です。

防災活動に関心のある方、また災害ボランティアネットワークでいっしょに活動したいという方はぜひご参加ください。



一緒に学ぼう!

日時:8月25日(金)10:00~正午

場所:宍粟防災センター

内容:DIG「災害図上訓練」にチャレンジ

講師:防災士 助光ゆかりさん

定員:20名

○参加申し込み 社協各支部

から定期的な情報交換や学習の場を設けるとともに、ボランティアと本会職員や関係機関の連携を深めることを目的としています。

今後は、災害ボランティアセンター設置訓練(防災訓練)への参加や、地域・学校・企業等での福祉・防災学習のゲスト(講師)として活動していただくなど、メンバー一人ひとりが持っている知識やノウハウを活かしながら、ネットワークの輪を広げていきます。

災害ボランティアネットワークは誰でもご参加いただけます。防災活動に関心があり、住民相互の助け合い活動にご理解とご協力いただける方の参加をお待ちしています。

(波賀支部 田中 祥仁)



福祉・防災学習パンフレット



2時間のしあわせ 社協のミニデイサービス

指導員が、利用者のチャレンジする気持ち
や意欲を引き出します(6/2 千種支部)

宍粟市からの委託を受けて4月から新たに始めました、社協の「ミニデイサービス」も4か月が経過しました。

今月号では、ミニデイサービスの目的や内容についてご紹介します。

知ってください 社協の「ミニデイ」

宍粟市からの受託事業として取り組んできた「介護予防普及啓発事業（一次予防）」と「通所型介護予防事業（二次予防）」が、平成28年度で終了しました。

この4月から、介護保険制度の改正による「新しい総合事業」の実施にともない、新規の受託事業として、高齢者の閉じこもりや認知症などを予防することを目的に「短時間通所サービス（ミニデイサービス）」に取り組んでいます。

楽しく介護予防が できる集いの場

「ミニデイサービス」と聞くと介護サービスのように思えますが、毎週1回（2時間）、楽しく介護予防運動をしながら、仲間づくりや生きがいづくりを行う新たな集いの場です。

「毎週月曜日が楽しみ」「体操をするようになり楽しく立ち上がれるようになった」「難しいけど脳トレが楽しい」といった声が聞かれ、利用者にとって生活のひとコマとなっているようです。

楽しいことや自分でできることがもっと増えます！

宍粟市社協の ミニデイサービス

楽しく介護予防運動をしながら、仲間づくりや
生きがいづくりをしましょう！！



※本事業の利用に当たっては、
宍粟市への届出が必要です。

◎生活機能の低下が認められる方
◎要支援1の方

※ 利用料は・・・

1回 300円 です。

(利用料260円+茶菓子代他40円)

※介護予防サービス・支援計画書に定められた目標を
お手伝いするために必要なサービスを提供します。

対象者や利用料、内容等はこのチラシで確認ください

～ミニデイサービスの内容～

* 時間 午前の場合 9:30～11:30
午後の場合 14:00～16:00

* 内容 ・いきいき百歳体操・血圧測定
・歌・脳トレ・レクリエーション他

◎週1回2時間の利用が基本です。
◎送迎あり。

* 会場 宍粟市社協各支部

◆見学もできます！
お気軽にお越しください！

そして、利用者から受ける相談等には、本会のコミュニティワーカーやケアマネジャー等が丁寧に対応するなど、社協の強みである専門性を発揮しています。

みなさんの身近な所で、ミニデイサービスが必要と思われる方がおられましたら、宍粟市地域包括支援センター、各保健福祉センター、宍粟市社協各支部窓口までお問い合わせください。
(地域支援課長 波多野好則)



「ミニデイに毎回楽しく参加しています」
～波賀支部の利用者のみなさん～

読者の
感想より

毎回、ひ孫といっしょを楽しみに見せてもらっています。これまで何人か知った人が出ておられて私自身も嬉しいのです(山崎町 女性)

やさしさ

顔見知りになれるサロン

薦沢第6老人クラブ

7月20日(木)「生谷いきいきふれあいサロン」が公民館で開催され、老人クラブの会員や子どもなど20人が参加しました。

サロンは、薦沢第6老人クラブ(生谷・下町自治会)が主体となり月1回程度行われています。

この日は、体操やゲームで楽しいひと時を過ごし、子どもが参加しやすい学校の終業式の日に合わせて行われました。



「おじいちゃん抱っこして」「上手に積みよ」みんなで協力しながら、紙コップを高く積み上げる「ドキドキタワー」を楽しみました(生谷公民館)

「ゲームをして知らなかったおじいちゃんおばあちゃんと友だちになった」「ラジオ体操に行くでおいしいちゃんにも声かけてくれえよ」と、おしゃべりも弾みにぎやかで楽しい時間を過ごしました。

老人クラブの伊野紀雄(のとしお)会長は、「お互い顔見知りになれたことが良かったな。夏休み中も、子どもたちを見守りたいね」と、話されました。

(山崎支部 山本めぐみ)

いのちのみや

ありがとう!ボランティアさん

やすらぎ介護センター

やすらぎ介護センター(デイサービス)は、平成9年の開設時から、介助のお手伝いやお話し相手、お楽しみ会など、多くの方にボランティアとしてご協力いただいています。

7月17日(祝)、職員が日頃の感謝を伝えたいの思いから、ご利用者とご家族、そしてボランティアのみ

なさんを招待し、「第2回やすらぎ夏祭り」を開催しました。

当日は、90人が集まり、職員による演奏やビンゴゲーム、マジシャン輝さん(東公文)によるマジックショーで盛り上がりしました。

また、かき氷やたこ焼き、射的など通常のデイサービスとは違った雰囲気を楽し



祭りを楽しむご利用者とボランティアのみなさん(一宮保健福祉センター)

しんでいただきました。「ええ祭りやわ。夏の思い出やな」とのご利用者の声や、「来られたみなさんは、いつも以上にいきいきされていますね。これからもボランティアとして協力していきます」との声が聞かれました。

たくさんの笑顔であふれた夏祭りは、地域のみなさんとの日頃のつながりがあつての機会だと感じました。

ボランティアのみなさん、これからも、社協のやすらぎ介護センターにご協力をお願いします。

や・い・は・ち トピックス

は
が

若者の力で地域に活気を!

上野でふれあいそうめん流し

7月16日(日)、波賀町上野の商店街で「第5回ふれあいそうめん流し」が開催され、猛暑の中、約130人が夏の風物詩そうめん流しを楽しみました。

この催しは、「商店街に元気を」と5年前にソフトボールチーム「メイプルタウンレンジャーズ」の声かけで始まりました。

商店街の見通しの良い直線を活かした約50mのそうめん流しは恒例行事となり、現在は上野の20〜30代の若者を中心に集まった有志に引き継がれ、若い力でイベントを企画運営しています。

岡本淳実行委員長(33歳)は、「段取りは大変ですが、色々な方に協力していただくことで『地域の方々とつながり』ができたことは本当に大切なことだと感じています。」と話



地元上野のみなさんや町内からの参加はもちろん、遠くは大阪から毎年楽しみに来られる参加者も(上野商店街)

自治会長の野毛邦明(のげくにさき)さんは、「若者が中心となり地域のために頑張ってくれてうれしい。上野の今後を担う若い力は頼もしい」と話されました。

このそうめん流しを通して得たつながりが若者の地域活動の基盤となり、今後、様々な取り組みに活かされていくことでしょう。

若者の地元離れが進む中であって、上野では若いパワーが地域を盛り上げています。

(波賀支部 田中祥仁)

ち
くさ

ご近所さんの集いの場

松浦さん宅の「いっしょカフェ」

7月22日(土)、千種町河呂の松浦美保子(まつうらみほこ)さん宅でお食事があけると聞き、お邪魔しました。

この集まりは、松浦さんのお母さんが、お出かけする機会がなくなってきたことから、近所の人との出会う場を作りたいと思われたのがきっかけで、6月から月1回ご自宅で行われています。



食後のコーヒータイム!みんなで話が盛り上がります(千種町河呂)

みなんで仲良く心を寄せ合いたいとの気持ちから『いっしょカフェ』と名付けられ、友人たちと活動されています。

ご近所のひとり暮らしの方や友人など10人が参加し、昼食を囲み楽しそうにおしゃべりされ、「みんなと会えるで嬉しいわ」と、日頃の出来事など話はつきません。

「参加される人が楽しみに来られる様子を見ると良かったなと思います。それに母も楽しそうですしね」と松浦さんの笑顔が印象的でした。

こころカフェは、ご近所のみなさんが気軽に集まり、そこに行くのが気心の知れた仲間たちと出合い楽しめる集いの場になっています。

今後このような場がますます大切になってきます。みなさんの地域にも集いの場が増えるといいですね。

(千種支部 横山洋子)

～第6期セカンドライフ応援セミナー～

まだ、申込み
間に合います

あなたの力で“元気な地域づくり”を



住み慣れた地域でいつまでも元気に楽しく暮らし続けるため、これからさらに必要となる生活のちょっとした困りごとや、身近な地域での集いの場・居場所づくりをお手伝いする『ご近所サポーター』について学び、仲間づくりと地域活動への参加を応援するセミナーを開催します。

日 時 / 内 容	
1回	8月19日(土) 13:30～15:30 穴栗防災センター 「地域をもっと元気に!」栗木 剛 氏(Mottoひょうご)
2回	8月23日(水) 9:30～13:00 メイプル福祉センター 手打ちそば作り～「食」をテーマに地域交流～
3回	8月31日(木) 13:30～15:30 穴栗防災センター 認知症サポーター養成研修
4回	9月8日(金) 13:30～15:30 穴栗防災センター 「ご近所サポーター」で困りごとのお手伝い

対 象 50歳以上の方 受講料 1,000円
定 員 20名 申込締切 8月18日(金)
申込み 山崎支部 ☎62-5530

セカンドライフ1期生が
頑張っています!



入所者の方々と
すき作業(20)

ぶるーべりい会は、第1期セカンドライフ
応援セミナーをきっかけにできた10人の
グループで、結成して5年目になります。

はりま自立の家で新聞の朗読や紙すき
作業等のお手伝いを行い、入所者の方々
とのふれあいを大切にしながら活動されて
います。

また、震災追悼行事のための竹筒作りや
サンタクロースボランティアなど、社協の
事業にもご協力をいただいています。

穴栗市社協
ボランティア活動助成金

118団体へ助成

要約筆記のグループで
は、パソコン機器の消
耗品等で助成金を活用



ぼらんちゃん

7月10日(月)、ボランティア活動助成金交付
審査会を開催し、157万5千円の助成を決定
しました。

助成金は、穴栗市内のボランティアグルー
プが、安定的かつ継続的に活動できるよう助
成しています。

なお、助成金の財源は、市民のみなさまから
お寄せいただいた善意銀行預託金を活用して
います。

暑中見舞いをありがとう!!



「いなほの会」のみなさん
心のこもった言葉を添えます

絵手紙ボランティアグループ(佳音、やまゆり、
いなほの会)から配食サービス利用者の皆様に、
暑中見舞いのはがきが届きました。

はがきには、夏の花や野菜などの絵が描かれ
「暑中お見舞い申しあげます」「暑い日が続いて
います。お元気ですか?」「暑さに負けないで。お
元気で過ごして下さいませ」といったメッセージ
が書き添えられていました。

グループの皆さん、素敵な暑中見舞いをあり
がとうございました。